

# 全力で取り組む只見町



▲小川橋の「橋梁下部工工事」(11月5日撮影)



**小川橋上部工の発注**  
 昨年の豪雨災害により、全長136メートルの小川橋の3分の2が落橋し、通行不能となっています。  
 現在、橋脚部分の改修工事を進めています。上部工（橋桁・道路部分）の工事について、10月30日に開かれた町議会において、提出議案が可決され、工事の発注となりました。下部工とあわせ全体では約3億6千万円の大型工事となります。来年度には完成の予定で、復旧の大きなシンボルとなるでしょう。

## 新潟・福島豪雨にかかると災害復旧の現状は…

11月も半ばを迎え、降雪時期も近くなってきましたが、町は災害復旧事業に最優先で取り組んでおります。このたび、町施設では最大の被害を被った小川橋の上部工が発注の運びとなりました。改めて、現在の災害復旧工事等の取り組み状況と今後の見通しについてお知らせします。

災害復旧工事全般については、3ページに掲載のとおり、一部（林道災害復旧）事業において厳しい状況ではあります。が、住民の方々及び事業者の皆様のご協力により、概ね、災害発生から3年以内での復旧が完了する見通しです。

### 只見保養センターの改修

昨年の豪雨災害により甚大な被害を受け、使用不能となっている只見保養センターについては、現在、実施設計作業中であり、平成25年度には竣工の見通しです。

### 役場新庁舎の建設に向けて

防災拠点でもある役場新庁舎の建設については、現在、基本設計業務を全国公募により募集しています。平成25年1月末までに、只見町役場庁舎建設基本計画に定めた5つの基本方針（※）に基づき新庁舎の建設にふさわしい設計業者を選定し、その後、選定された事業者による基本設計に入ることとなります。（プロポーザル方式）

### 被災した集会施設の整備

豪雨災害により流出や大きな被害を受けた八木沢地区及び津地区の集会施設については、避難所機能を併せ持つ集会施設として整備します。今年度は設計等を行い、平成25年度には竣工するよう取り組んでおります。

### 豪雨災害記録誌の作成

未曾有の豪雨災害の記録・記憶を将来へ引き継ぐため、豪雨災害の記録誌を作成することとしました。今月から聞き取り調査などを開始しますので、皆様のご協力をお願いします。

- 【※5つの基本方針】
- ① 町を活性化する拠点となる庁舎
  - ② 町民のリビングとなる庁舎
  - ③ 環境にやさしい庁舎
  - ④ 安全・安心な庁舎
  - ⑤ コンパクトな庁舎

災害復旧工事については、一歩一歩着実に進んできています。引き続き、早期の災害復旧に取り組みながら、安全な地域づくりの実現と活力ある社会経済の再生に向け、町議会とともに、全力で進んでまいります。

# 豪雨災害からの復旧・復興を目指し

## 平成23年 7.29新潟・福島豪雨災害 復旧工事進捗状況

【平成24年10月末現在】

区分	箇所数	災害査定事業費	現 状	今後の見通し（予定）
公共土木施設	29	約11.6億円	発注率：事業費ベースで86%	平成25年度完了予定
うち 主な施設		楢戸橋	発注済み	今年度内完了予定
		小川橋	発注済み	平成25年度完了予定
		峯沢橋	今年度内に発注予定	平成25年度完了予定
		五礼橋	工事完了	—
簡易水道施設	12	約1.3億円	発注率：事業費ベースで65%	平成25年度完了予定
農業集落排水施設	12	約1.5億円	発注率：事業費ベースで90%	平成25年度完了予定
町営住宅	29	約0.7億円	工事完了	—
農地災害復旧	42	約2.2億円	発注率：事業費ベースで97%	平成25年度完了予定
農業用施設災害復旧	52	約2.2億円	発注率：事業費ベースで84%	平成25年度完了予定
林道災害復旧	63	約12.6億円	発注率：事業費ベースで23%	平成25年度完了を目途。やむを得ず繰越により26年度完成の場合もあり。

### 【参考：県事業】

【平成24年10月末現在】

区分	事業費	現 状	今後の見通し（予定）
黒谷川	約33億円	発注率：事業費ベースで44%	平成26年度完了予定
叶津川	約14億円	発注率：事業費ベースで58%	平成25年度完了予定
花立橋	約2.5億円	仮橋で通行中、工事は発注済み	平成25年度完了予定
只見川	約5億円	主に八木沢地区の河川改修工事を行う予定。	平成25年度完了予定
		只見川圏域河川整備計画策定に着手。25年度中に策定完了予定。	